

妙高市を知らない方へ、簡単に紹介します。

妙高市は、新潟県の南西部に位置し、長野県と隣接しています。霊峰“妙高山”が街のシンボルでもあります。

当地は四季の移り変わりを色濃く感じられる地域です。

夏は、平野部ではとても熱いですが、妙高高原エリアは山間部のため非常に涼しく、避暑地や合宿地として県外の皆さんから好まれます。

冬は豪雪地帯のため、平野部では1～1.5m、妙高高原エリアでは3mほど雪が積み上がる時もありますが、多くの除雪車が稼働するため、しっかりと道路除雪も行われ、よほどの大雪の日でもなければ通勤通学に支障が出ることもありません。市内には泉質の異なる7つの温泉や、9つのスキー場があり観光客で賑わいます。



また、圏域外からの交通アクセスの良さも魅力の一つです。市内は大きく3つのエリア（新井・妙高高原・妙高）に分かれています。それぞれのエリアを横断する形で高速道路が通っており、妙高高原ICや新井PAスマートICからは首都圏へ2～3時間の距離です。この他、市街地からほど近くに北陸新幹線の上越妙高駅があり、東京や金沢へのアクセスが良好です。鉄道網としては、第三セクター鉄道の“えちごトキメキ鉄道”が走っており、3つのエリア全てに駅があります。

日常の生活では、基本的に自動車での移動がメインとなります。



当市の特徴としては、農業や観光産業の比率が大きく、また高齢化率も高い街です。住む人の出入りが少ないですが、その反面、豪雪地帯という地域柄、譲り合い助け合いの心が人々に培われており、当地では穏やかで安心安全な生活を送ることができます。

最後に、医療機関の状況です。

隣接する上越市や糸魚川市と医療圏域を成していますが、市内の医療機関は少ない状況です。病院は2つ（JA新潟厚生連けいなん総合病院と新潟県立妙高病院）ありますが、医科診療所は8つしかなく、近年減少傾向にあります。高齢者は遠方の医療機関に通うことも大変であり、妙高市民の健康を守る市内の医師が不足している状況です。貴方の力を、将来の妙高市民が必要としています。

応募を検討されている方は、ぜひ一度、妙高市にお越しいただき、実際に街を見ていただくことをお勧めします。

